

◆北総線通学定期乗車券

助成 4 月以降も継続に

3 月末で終了予定だった北総線通学定期乗車券の助成を 4 月以降も継続します。

なお、当助成を継続する期間は、4 月 1 日～7 月 16 日（成田スカイアクセスの開業日の前日）までです。

◆7 月 17 日(土)から運賃値下げも

7 月 17 日（成田スカイアクセス開業日）から、千葉県および沿線自治体、鉄道事業者間における北総線の運賃値下げにかかる合意により、北総線の普通運賃 5 % 弱、通学定期運賃 25 %、通勤定期運賃 1 % 強の運賃値下げが実施される予定です。

これにより、通学定期については、現在の割引通学定期と同程度の額まで定期割引率が引き上げられます。

◆北総線・割引通学定期乗車券をご活用ください

市では、北総線通学定期乗車券の購入代金の一部を助成しています。これより、通常約 60 % の割引率で発売されている通学定期が、約 70 % の割引率で発売されます。

●助成対象者：市に住所登録している高校生、大学生、専門学校生、予備校生などで、北総鉄道(株)の通学定期券の購入条件を満たしている学齢年齢 22 歳以下の人（昭和 63 年 4 月 2 日～平成 7 年 4 月 1 日生まれの人）。

●発売駅：千葉ニュータウン中央駅および新鎌ヶ谷駅。 ※ほかの駅では発売されません。

●購入方法：発売駅で、通学証明書（通学定期乗車券購入

兼用学生証、学生カードなど）を提出、もしくは提示のほか、発行日から 1 カ月以内の住所証明書（市役所内市民課・各支所・出張所で無料で申請可）、または外国人登録証明書（カードや手帳）の氏名・

現住所が記載されている箇所の写しを購入の都度、提出。

●割引対象区間：北総線内のみ（京成線、都営線などへの連絡定期乗車券も発売されますが、割引されません）。

●払い戻し：当該割引通学定期乗車券を購入した駅のみの取り扱いとなります

※継続定期の購入を希望する場合、4 月は窓口が大変込み合いますので、お早めにお買い求めください。

●注意点：助成終了となる 7 月 16 日まで定期を購入する場合、通常定期で 1 カ月ずつ、または 3 カ月定期を購入すると、最終的に 1 カ月に満たない端数の日数が生じます。1 カ月に満たない期間の定期は

子育てインフラオレーション

発売されません。学期定期を利用するなど、ご対応ください。なお、購入方法などは、発売駅にお問合わせください。

子ども医療費助成制度

市では、小学校 1 年生～6 年生を対象とした子ども医療費助成制度を行っています。

医療機関などで健康保険証を提示し、3 割負担していただき、後日償還払いの申請をしていただきます。

自己負担金については、通院 1 回につき 200 円、入院 1 日につき 200 円、保険調剤については、無料となります。

※市区町村民税所得割が課税されていない世帯は無料。また、所得制限は設けておりません。

※事前に、受給資格の登録手続きが必要で

【合併に伴う変更】

●合併以前から印西市に在住の人：自己負担額が 300 円から 200 円に変更となりました。

※3 月 23 日受診分からは、所得制限が廃止されたので、今まで所得制限限度額を超えるため、未申請の人は登録申請をしてください。また、以前申請し、所得制限限度額を超えるために、却下通知書を受け取った人は、3 月 23 日から認定通知書を順次発送しています。

●旧印旛村に在住の人：合併前は同様の制度がありませんでしたので、新規に登録申請をしてください。

●千葉ニュータウン中央駅（☎46 3711）、企画政策課 交通政策室（☎内線 472、473）。

●旧本埜村に在住の人：既に旧本埜村児童医療費助成制度申請済みの人の変更ありません。

※小学校新 1 年生は、全ての人の申請が必要です。

※4 月末までに申請の手続きがお済みでない場合、受給資格は申請日の属する月の 1 日からとなります。

申請については、子育て支援課および印旛支所・本埜支所の市民福祉課窓口で受け付けします（郵送申請可）。

「子ども手当」が始まります

これまでの児童手当から対象年齢を中学 3 年生まで拡大し、所得制限をなくした「子ども手当」が始まります。

4 月中を目標に 0 歳～中学 3 年生のいる世帯に案内文や認定申請書などを普通郵便で発送する予定です。

手続きの必要な人は期限内に忘れずに申請手続きをお願いします。

なお、公務員の場合は児童手当同様に職場での支給になりますので、ご注意ください。

乳幼児医療費助成制度

市では、市内に住所のある就学前の子どもの医療費（保険給付分）の一部を助成しています。助成を受ける場合は、左記で申請をし「乳幼児医療費助成受給券」の交付を受け

いんばめいせい 印旛明誠高校

4 月から開校

「千葉ニュータウンに高校を」という多くの願いが実を結び、印西牧の原駅圏に「県立印旛明誠高校」が開校します。同校は、創立百年以上の歴史をもつ「印旛高校」が前身。選抜高校野球大会準優勝など、これまでの数多くの伝統を受け継ぎつつ、校舎、校章、校歌、制服を新たにして、進学を重視した普通科単位制高校として開校するものです。

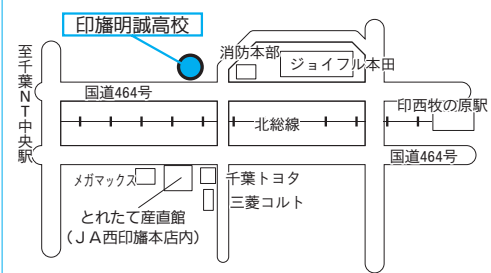
また、同校では「地域の特性を最大限に活用して人材育成する高校」を基本コンセプトの一つに掲げており、部活動では、地域のみなさんの力も借りて、新たにゴルフ部を創部するなど、地域に根差した教育を展開していきます。

なお、始業式は 4 月 6 日(火)、入学式は 4 月 7 日(水)に行われ、本年度は全学年で約 290 人の生徒が通学することとなります。 県立印旛明誠高等学校（☎47 7001）。



イメージ図

●印旛明誠高校案内図●



申請については、子育て支援課および印旛支所・本埜支所の市民福祉課窓口で受け付けします（郵送申請可）。

詳しくは、子育て支援課 児童家庭班（〒270-1396 印西市大森 2-3-6 4-2・☎内線 245）まで。

平成 22 年度当初予算

平成 22 年度当初予算が、3 月の市議会第一回定例会で可決されました。

一般会計は平成 21 年度当初予算と比べ 9.4 % 増の 244 億円、これに特別会計と企業会計を加えた予算総額は 9.0 % 増の 338 億 5,637 万円となりました。

平成 22 年度当初予算は諸般の事情により旧「印西市」単体の予算となっています。新「印西市」の予算については、今後開催される議会で補正予算として審議し決定されます。新「印西市」の予算は決定次第、広報などを通してお知らせします。

なお、平成 22 年度当初予算（旧「印西市」単体の予算）の概要については、市ホームページや情報管理課、図書館で公表していますのでご覧ください。

財政局課財政班（☎内線 482 ～ 485）。